

(仮訳)

三か国共同プレス声明
インドネシア、バリにて
2011年7月23日

2011年7月23日、松本剛明・日本国外務大臣、金星煥・大韓民国外交通商部長官、及びクリントン・アメリカ合衆国国務長官は、インドネシアのバリにおいて、ASEAN地域フォーラム閣僚会合の機会を利用して会合を開催した。この会合は、2010年12月6日にワシントンDCにおいて成功裡に行われた三か国外相会合に続くものであり、アジア太平洋地域及び世界において拡大する日韓米三か国の協力を踏まえたものである。

三外相は日米間、及び韓米間の同盟、並びに日韓間のパートナーシップがアジアにおける平和と安定の維持に不可欠であることを認識した。三外相は、日米間及び韓米間の同盟関係の基礎である日米安全保障条約及び韓米相互防衛条約の下での、それぞれの二国間の相互の責任と確固たるコミットメントを再確認した。三外相は二国間の相互の責任に立脚して共通の安全保障上の脅威に効果的に対処することを決意した。

三外相は2005年の六者会合共同声明に対するコミットメントを改めて表明し、六者会合が再開されるためには、北朝鮮が韓国との関係を改善するために真摯かつ建設的な南北対話を含めた誠意ある努力をしなければならないとの確信を共有した。この関連で、三外相は、2011年7月22日にバリで実施された非核化に関する南北対話を歓迎するとともに、南北対話は今後とも継続され前進すべきプロセスであることを強調した。三外相は北朝鮮に対する政策について緊密な協議を維持し、北朝鮮に挑発的行為を思いとどまらせるための努力を継続し、そして北朝鮮に非核化に対する真のコミットメントを示すための具体的行動をとることを促すことを約束した。三外相は、北朝鮮の挑発的かつ好戦的な態度は三か国全てを脅かすものであり、そのような態度には三か国全てが結束をもって対応するであろうことを確認した。また、三外相は北朝鮮に対して拉致及び離散家族再会の問題を解決するための行動をとるよう求めた。さらに、三外相は北朝鮮に関連する問題について中国及びロシアとの協力を一層推進することで一致した。

三外相は、北朝鮮による拡散を防止し、関連する国際的な制裁の完全な実施を確保するための多数国間協力を維持することの重要性を強調した。三外相は

北朝鮮のウラン濃縮計画が国連安保理決議第 1718 号及び第 1874 号の違反であり、また、2005 年の六者会合共同声明における北朝鮮のコミットメントにも整合しないことを改めて表明しつつ、同計画に対する適切な対応について連携を継続することで一致した。また、三外相は、六者会合再開に応じるためには北朝鮮のウラン濃縮計画についても対処されなければならないとの点で一致した。

三外相は、重要な地域問題、特に東南アジアについて意見交換し、ASEAN 地域フォーラムが平和及び安定を促進するための具体的計画を伴って解決策を指向する地域安全保障体に進化することを支援するため、共に努力することで一致した。また、三外相は、不拡散、海上安全保障、災害救済を含む極めて重要な政治的・戦略的問題について首脳がやりとりのある議論を行えるフォーラムとして、東アジア首脳会議を支援するための努力において連携していくことを約束した。

三外相は、不拡散、人権、開発協力を含むグローバルな問題に関する政策的な協調及び協力を推進していくことへのコミットメントを確認した。三外相は、主要なドナー国として、開発協力政策について、特に東南アジア、太平洋諸島、アフリカにおいて一層大きな影響と効果を持つように三か国の連携を強化することで一致した。この文脈で、三外相は、アフリカ及び東南アジアに関する三か国の作業部会を立ち上げ、開発及び政治安全保障の問題に関する緊密な連携を確保することで一致した。また、三外相は、アフガニスタンの治安部隊・警察、法執行、教育、及び統治機構の発展に対する積極的支援を通じた、アフガニスタンの復興と開発へのコミットメントを再確認した。三外相は、2011 年 11 月に韓国の釜山で行われる予定の援助効果向上に関するハイレベル・フォーラムの重要性を認識し、この会議の成功のために協力することで一致した。

三外相は、アジア太平洋地域及び全世界における平和、繁栄、及び安全保障を維持していくことについての三か国が共有する利益に基づき、地域及びグローバルな問題に対処するための三か国協力を一層進めていくことの意義を認識した。三外相は、三か国協力の推進が重要であるとの認識に基づき、将来の三か国会合を促進し、共同の取組を企画し、幅広い問題への三か国の関与を深めることを目的として、三か国による事務局の設置を模索することで一致した。